

活動履歴と今後の予定

7/3 あすと長町第三市営住宅みのり会役員会

7/9 シェアハウス長町南 庭の草むしり

7/26 東北学院大齋藤研ヒアリング対応

8/13 シェアハウス長町南 入居者再契約

8/18 あすと長町第三市営住宅みのり会 相談対応

8/23 第3回理事会

8/23・24・25 熊谷ビルDIY.(東北工大生、栗駒建業)

8/29 北浜住宅役員会

9/7 みやぎ連携復興センターヒアリング対応

シェアハウス長町南 新入居者歓迎会

9/11 居住福祉学会居住福祉賞授賞式(オンライン)

Wi-Fi サロン

2ヶ所で開催中！

<つながりリッキー@あすと第二>

開催日：毎週金曜13:30～15:00(時間変更しました)

場所：あすと長町第二市営住宅集会所(太白区長町6-5-13)

参加費：大人100円、高校生以下無料

主催：就労移行支援Rickyクルーズ、つなセン 協力：あすと第二市営住宅住民の会

<田子西スマホサロン>

開催日時：6月24日～9月23日までの第2・4金曜 14:30～16:30

※7月のみ第1・3金曜日に開催

場所：田子西住宅集会所(宮城野区田子西1-11)

プログラム：①ミニ講座②スマホ個別相談 参加費：無料

主催：田子西町内会、つなセン

協力：東北学院大学災害ボランティアステーション

東北大学課外・ボランティア活動支援センター

お気軽に
ご参加
ください！

会員数

正会員 賛助会員

27 (+1)

30 (+1)



facebook

いいね!数

586 (+8)

2022年9月1日 現在(前号比)

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからお手続きいただけます。 <https://tsunacen.thebase.in/>



継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。

・正会員：年間6,000円・総会議決権あり

・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

<口座名義> 特定非営利活動法人つながりデザインセンター

●郵便振替：02230-8-121908

●郵便振込：ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

一般社団法人入居サポートセンター・みやぎ SD不動産 NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会
NPO法人東日本ネットワーク手にとり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねい」と
株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社
社会福祉法人ライフの学校 スタジオまめちやうだい 仙台白百合女子大学 佐々木研究室
仙台南健康友の会 つばき薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室
東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
長崎大学安武研究室 宮城厚生協会長町病院 有限会社栗駒建業

役員名簿

代表：薄田 榮一
副代表：新井 信幸
理事：加藤 渉
理事：松原 久
理事：マリ エリザベス
理事：松村 翔子
理事：宮本 愛
監事：金沢 和樹
監事：佐々木 裕子

編集後記

熊谷ビルには、足を運ぶたびに発見があります。つなセンの事務所に続く廊下は楽しい雰囲気溢れ、にぎやかな表通りからは見えない駐車スペースでも、何やら新しいことが始まりそうな気配があります。今回の特集では、事務所のリノベーション事例が報告されましたが、つながりを活かしながら、用途だけでなく仕組みも更新していく様子が、とてもつなセンらしいと思いました。(田澤)

認定NPO法人

つながりデザインセンター

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080-3205-5177
MAIL asuto@tsuna-cen.com
WEB www.tsuna-cen.com

GOOD DESIGN AWARD 2018

つなセン
TSUNAGARI Design Center
NEWS

24
2022.09



熊谷ビルの住居用スペースへのリノベーションには、学生たちも積極的に参加した

仲間と一緒にリニール！

信頼と提案から生まれる空き家活用コーディネート
広瀬川沿いの貸家の活用募集サポート
田子西市営住宅スマホサロン始動
【団体紹介】海辺の図書館

活動報告

Main Topic



空き家活用コーディネート

信頼と提案から生まれる

1 熊谷ビルでの住居用リノベーション

つなセンの活動の柱の一つとして空き家の活用支援があります。これまで、菜園付きシェアハウス長町南、岩沼れんがのおうち、つなセンが入居している熊谷ビル等において、家主あるいは入居（希望）者から相談を受けて、新たな活用に向けたハード・ソフトの整備を進めてきました。そして、ここ最近も数件の空き家活用案件に取り組んでいます。ここでは、熊谷ビル（築57年の賃貸型集合住宅兼店舗・事務所、NEWS21号でも紹介）の一室でリノベーションを進めている案件をご紹介します。



▲栗駒建業の高橋社長の指導の下、東北工業大学の学生も作業に参加

こちらは、昨秋、つなセンのとある理事の知人からの「犬を飼える賃貸住宅を知らないか」との間合せからスタートしました。同ビル1階に宿泊用の預かりサービスのあるペットショップがあることから、同ビル空室を紹介したところ、リノベーションして居住したいという話になり、家主さんに交渉することとなりました。同ビルは家主さんが社会的な取り組みやアート活動などにとっても理解のある方で、その家主さんの理解を経て、原則、入居者負担で内装の改修が認められています。

リノベーション設計は、同ビルに入居する三浦匡建築設計事務所がボランティアで協力してくれて、工事はつなセン会員の栗駒建業に依頼しました。しかしながら、見積で施工費がざっと300万円となり、これを入居者側が全額負担するという形では合意できませんでした。



▲熊谷ビル外観



▲三浦匡建築設計事務所と入居予定者の打合せ

2 つなセンのコーディネート

そこで、施工費を家主と入居者で負担する形を提案したところ合意に至り、リノベーション工事がスタートしました。負担の具体的な金額はここでは控えておきますが、家主の負担分は当室家賃が3年間で回収できる金額として、入居者の負担分はそれを5年間で月々に押し並べて毎月の家賃に上乗せしても、近隣相場の新築物件よりもリーズナブルになるように金額設定しました。もちろん、5年以上居住すれば、さらにお得感がアップすることになります。

3 建築学生らによるDIY

同室の工事にあたっては、栗駒建業の高橋渉社長の指導のもと、東北工大の学生たちに従前の内装の解体から、新たな内装の施工にも関わってもらい、施工技術の学習の場として活用してもらいました。また、建設費高騰の煽りを受けたことから、従前の内装の木材などを新たな内装の下地に積極的に利用するなど、結果的にSDGsなリノベーションにもなりました。同室の工事は9月末には完了し、10月を入居予定としています。完成後の様子は、次号以降でご報告したいと思います。



▲内装の仕上げにも東北工業大学の学生たちが精を出した

団体紹介
No.24

海辺の図書館



仙台市中心部から車で約30分、東日本大震災で津波被害を受けた仙台市荒浜にある「海辺の図書館」。図書館といっても本はなく、まち全体を図書館と見立て、訪れた人が地域の人や自然に触れ合うことで、荒浜の文化や歴史を“本を読むように”体験してもらいたいと活動しています。

これまで、海辺を活用したウクレレ演奏会や能の公演、砂浜をギャラリーに見立てた「海辺の写真展」など、荒浜の魅力を体験できる様々なイベントを行ってきました。また、毎月第2日曜日には「深沼ビーチクリーン」という海岸清掃を開催していて、多い時には200人近くの方が参加することもあり、大人から子供まで楽しみながら荒浜の豊かな自然に触れることができます。心が豊かになる体験ができる「海辺の図書館」にぜひ足を運んでみてください。

〈場所〉宮城県仙台市若林区荒浜字中丁36-81
〈海辺の図書館ホームページ〉<http://umibe.org/>
〈深沼ビーチクリーンFacebook〉<https://www.facebook.com/fukanumabeach/>

Topics

広瀬川沿いの貸家の活用募集サポート

今年6月に仙台中心部の広瀬川沿いにある築47年の木造2階賃貸家の家主より活用の相談があり、すぐに現地視察を実施して、シェアハウスでの活用などの検討を行いました。立地的には最適なのですが、間取り的に適していなかったため、まちづくり等に活用できる方を広く募集することにしました。



そこでつなセン理事のフェイスブックから情報発信したところ、ほんの半日で5件の引き合いがあり、その日のうちに募集を締め切ることになりました。その後、別のルートからの1件も含めて、6件を対象に内覧と面談を実

施して、家主の意向を尊重して7月に入居者が決定しました。

この貸家は、広い庭から直接広瀬川の河岸に降りられるなど、環境的にとても魅力的で貴重な物件でしたが、家主の説明ですと地場の不動産店で数ヶ月間情報提供したものの、何の音沙汰なしだったとのこと。不動産業界も新たなプラットフォームの構築が必要そうですね。



田子西市営住宅スマホサロン始動

今年6月から田子西市営住宅（仙台市宮城野区）にて、孤立を防ぐコミュニティづくりの一環で、集会所にWi-Fiを導入し、『田子西スマホサロン』を始めています。同サロンは田子西町内会とつなセン、また東北学院大や東北大学の学生ボランティアが協働して、市営住宅の住民向けに、スマホ操作やインターネットの悩みを解決するためのミニ講座と個別相談を実施しています。これまでは第2・4金曜の午後開催で5回実施してきました。多い日は13名、延べ36名が参加しています。



講座の内容は住民の方にアンケートをとり、疑問や利用頻度の

多いテーマに沿って講座を行っています。特にLINEや写真撮影操作の講座は住民の方の反応も良く、その後の個別相談は質問が多く出て学生さんが丁寧に対応してくれています。スマホという共通の話題をきっかけに、他の話題にも広がりがあり、最初は緊張していた住民の方や学生さんも、次第に会話が弾み楽しむ様子が見受けられました。

参加住民の方々も、これまで集会所での交流会等には参加されていなかった方が多く、つながりの広がりを実感しています。

